

1. 基本情報

■事業の担当課	生活環境部環境政策課		■担当係	ごみ減量係
■評価事業名称	環境美化推進事業			
■事業開始年度				
■評価事業コード	030200 - 302	■会計区分	一般会計	
■総合計画での位置づけ	■政策	04 美しい環境と心を守り育てるまちづくり		
	■基本施策	02 資源循環型社会の形成		
	■施策	01 ごみの不適正排出、不法投棄の防止		
■事業の類型	05 ソフト事業(任意)	■政策・業務区分	政策	
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの			
■法令等の名称				
■関連計画の名称				
■事業の概要	ごみが無いきれいで清潔な街づくり。・市衛連が中心となり不法投棄パトロールを実施し、不法投棄がある場合には収集及び清掃を行う。・市民に対して不法投棄防止の看板等を配布し、きれいな街づくりの推進を図る。			

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	令和2年度事業計画	令和2年度事業量実績
01	環境美化推進事業	市民	動物死骸回収業務 226件(小動物220件、大型動物6件)不法投棄防止看板配布 100枚	動物死骸回収業務 229件(小動物224件、大型動物5件)不法投棄防止看板配布 156枚(ポイ捨て看板51枚、罰金看板105枚)
02	公衆衛生指導員設置	公衆衛生指導員	春・秋清掃活動、不法投棄監視パトロール51回予定、北上市クリーン活動	125行政区ごとに公衆衛生指導員を委嘱(任期2年、報酬50千円)、春・秋清掃活動 延べ参加者22,127人、不法投棄監視パトロール43回(収集3,577kg)、北上市クリーン活動未実施

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成29年度	平成30年度	令和1年度	令和2年度	備考
直接事業費	8,407	8,280	8,134	8,992	
人件費	3,358	3,381	2,668	1,192	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	11,765	11,661	10,802	10,184	

4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	29年度	30年度	1年度	2年度	指標の説明
01	地域不法投棄パトロール回数	48回	51回	46回	43回	各地区の不法投棄パトロール・清掃活動を地区の指導員・役員が中心となって行った。

02	清掃活動参加者数	24,804人	22,773人	26,091人	22,127人	春、秋の地域清掃参加人数
03	不法投棄量	2.93t	4.31t	4.16t	3.58t	不法投棄回収量

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

達成状況の分析

問題点・課題等

■目標達成状況

● A. 順調
○ B. 概ね順調
○ C. 遅れている

春、秋の地域清掃は、毎年2万人を超える市民が参加し、きれいなまちづくりに寄与している。

参加人数が、前年度比約4,000人減少している。高齢化や人口減少のほか、新型コロナウイルスの影響が考えられる。陸上から海洋へごみを流入させないよう、市民の環境意識をさらに高揚させ、不法投棄を増加させない取組の継続・強化が必要である。

1. 直接的な受益者の範囲

● 不特定多数に及ぶ
○ 特定されるが多数に及ぶ
○ 特定少数に限定される

2. 国・県・民間との競合関係の有無

● 類似の事業はない
○ 類似の事業はあるが競合はない
○ 類似の事業があり競合する

3. 事業廃止の影響・貢献度

● 事業の廃止により重大な問題が発生する
○ 事業の廃止により何らかの問題が発生する
○ 事業の廃止による問題は想定されない

4. 市民生活・企業活動への貢献度

● 市民生活・企業活動の維持に不可欠
○ 市民生活・企業活動の維持に一定程度貢献している
○ 市民生活・企業活動の維持への貢献度は低い

5. 事業廃止の影響を受ける受益者の割合

● 1. で選択した人の大多数(70%程度)
○ 1. で選択した人の半分程度(50%程度)
○ 1. で選択した人の少数(30%程度)

6. 事業へのニーズの変化

○ ニーズが高まっている
● ニーズは変わらない
○ ニーズが低下している又は合致しない

7. 施策の改善需要度(市民意識調査)

● 順位が高い
○ 順位が中程度
○ 順位が低い

8. 施策の優先度(市民意識調査)

○ 順位が高い
○ 順位が中程度
● 順位が低い

9. 他市町村に比較しての優位性

○ 先進的またはユニークな事業である
● 他と同程度の事業である
○ 遅れている事業である

10. 実施主体の代替性

● 民間委託等の拡充は難しい
○ 民間委託等の拡充が十分に可能
○ 全部委託や実施主体の移行が可能

11. 経済性・効率性の向上

● 今以上の効率化や改善は難しい
○ 効率化や改善を図ることは十分に可能
○ 効率化や改善の余地が大きい

■事業の見直し方策(評価項目2.4の補足説明含む)

■今後の方向性

○ I. 拡充
● II. 継続
○ III. 縮小
○ IV. 廃止・休止
○ V. 完了

1. 基本情報

■事業の担当課	生活環境部環境政策課		■担当係	ごみ減量係
■評価事業名称	北上市公衆衛生組合連合会補助金(事務局業務含む)			
■事業開始年度				
■評価事業コード	030200 - 304	■会計区分	一般会計	
■総合計画での位置づけ	■政策	04 美しい環境と心を守り育てるまちづくり		
	■基本施策	02 資源循環型社会の形成		
	■施策	01 ごみの不適正排出、不法投棄の防止		
■事業の類型	06 負担金・補助金(任意・ソフト事業)		■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの			
■法令等の名称				
■関連計画の名称				
■事業の目的と概要	ごみの不法投棄対策と防止、ごみの分別徹底指導、リサイクルの推進・指導で地域の環境美化を図る。125地区公衆衛生組合が公衆衛生活動を実施するにあたり活動費として交付			

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	令和2年度事業計画	令和2年度事業量実績
01	北上市公衆衛生組合連合会事業費補助金	連合会	会議・定期総会1回、理事会8回、連合会研修会、理事研修会、公衆衛生組合長研修会、集団資源回収事業説明会、春・秋清掃月間、北上市クリーン活動、不法投棄監視カメラ購入、不法投棄監視パトロール事業市内17地区で各3回、マイバッグキャンペーン、市衛連だより発行、ごみ集積所整備事業、集団資源回収補助金交付、生ごみ処理機購入助成、市衛連会長表彰	会議・定期総会1回(書面決議)、理事会6回、連合会研修会・理事研修会未実施、集団資源回収事業説明会(資料送付)、春・秋清掃月間、北上市クリーン活動未実施、不法投棄監視カメラ購入2台、不法投棄監視パトロール事業市内17地区で各3回、市衛連だより未発行、ごみ集積所整備事業、集団資源回収補助金交付、生ごみ処理機購入助成、市衛連会長表彰
02	ごみ集積所整備費補助金	地区	補助金交付予定額:1,302,000円(新設・改修32基×38,500円、被覆ネット25枚×2,800円)	補助金交付額:1,302,000円(新設24基1,151,900円、改修5基137,000円、被覆ネット2枚6,851円、事務費15,400円)

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成29年度	平成30年度	令和1年度	令和2年度	備考
直接事業費	9,785	10,111	9,771	9,902	
人件費	5,952	6,840	5,260	5,066	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	15,737	16,951	15,031	14,968	

4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	29年度	30年度	1年度	2年度	指標の説明
01	ごみの減量化・資源化の推進(リサイクル率)	0.183	0.181	0.173	0.161	ごみ総量に対する資源ごみの量
02	衛生パトロール	48回	51回	46回	43回	地区で年3回程度のパトロール実施。
03	ごみ処理量	25,565t	25,682t	26,007t	25,817t	

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

達成状況の分析

問題点・課題等

■目標達成状況

○ A. 順調
● B. 概ね順調
○ C. 遅れている

不法投棄対策として、不法投棄パトロールの実施のほか、不法投棄が多い地域への監視カメラの設置をした。不法投棄パトロールの回数は、新型コロナウイルスの影響により前年度を下回り、前年度4.31tから3.58t(前年度比▲16.9%)に減少した。

依然として不適正排出が見られる。外国人を含めた新住民のごみ出しが不適正である傾向であるため、アプリの活用やごみ情報の翻訳言語の拡大等対策が必要。

1. 直接的な受益者の範囲

○ 不特定多数に及ぶ
● 特定されるが多数に及ぶ
○ 特定少数に限定される

2. 国・県・民間との競合関係の有無

● 類似の事業はない
○ 類似の事業はあるが競合はない
○ 類似の事業があり競合する

3. 事業廃止の影響・貢献度

○ 事業の廃止により重大な問題が発生する
● 事業の廃止により何らかの問題が発生する
○ 事業の廃止による問題は想定されない

4. 市民生活・企業活動への貢献度

○ 市民生活・企業活動の維持に不可欠
● 市民生活・企業活動の維持に一定程度貢献している
○ 市民生活・企業活動の維持への貢献度は低い

5. 事業廃止の影響を受ける受益者の割合

○ 1. で選択した人の大多数(70%程度)
● 1. で選択した人の半分程度(50%程度)
○ 1. で選択した人の少数(30%程度)

6. 事業へのニーズの変化

○ ニーズが高まっている
● ニーズは変わらない
○ ニーズが低下している又は合致しない

7. 施策の改善需要度(市民意識調査)

● 順位が高い
○ 順位が中程度
○ 順位が低い

8. 施策の優先度(市民意識調査)

○ 順位が高い
○ 順位が中程度
● 順位が低い

9. 他市町村に比較しての優位性

○ 先進的またはユニークな事業である
● 他と同程度の事業である
○ 遅れている事業である

10. 実施主体の代替性

● 民間委託等の拡充は難しい
○ 民間委託等の拡充が十分に可能
○ 全部委託や実施主体の移行が可能

11. 経済性・効率性の向上

○ 今以上の効率化や改善は難しい
● 効率化や改善を図ることは十分に可能
○ 効率化や改善の余地が大きい

■事業の見直し方策(評価項目2.4の補足説明含む)

■今後の方向性

○ I. 拡充
● II. 継続
○ III. 縮小
○ IV. 廃止・休止
○ V. 完了

1. 基本情報

■事業の担当課	生活環境部環境政策課		■担当係	ごみ減量係
■評価事業名称	災害廃棄物処理等計画策定事業			
■事業開始年度				
■評価事業コード	030200 - 338	■会計区分	一般会計	
■総合計画での位置づけ	■政策	04 美しい環境と心を守り育てるまちづくり		
	■基本施策	02 資源循環型社会の形成		
	■施策	01 ごみの不適正排出、不法投棄の防止		
■事業の類型	05 ソフト事業(任意)		■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	(未入力)			
■法令等の名称				
■関連計画の名称				
■事業の目的と概要	災害時における仮置き場の選定、避難所におけるごみやし尿の収集体制や発生量の推計など災害廃棄物処理を含め、平時からの適正なごみ処理について計画するもの。			

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	令和2年度事業計画	令和2年度事業量実績
01	災害廃棄物処理等計画策定事業			翌年度事業の準備

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成29年度	平成30年度	令和1年度	令和2年度	備考
直接事業費				4	
人件費				1,937	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト				1,941	

4. 評価指標等の状況

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

■目標達成状況 <input checked="" type="radio"/> A. 順調 <input type="radio"/> B. 概ね順調 <input type="radio"/> C. 遅れている	達成状況の分析 R03事業化された	問題点・課題等
1. 直接的な受益者の範囲 <input checked="" type="radio"/> 不特定多数に及ぶ <input type="radio"/> 特定されるが多数に及ぶ <input type="radio"/> 特定少数に限定される	2. 国・県・民間との競合関係の有無 <input type="radio"/> 類似の事業はない <input checked="" type="radio"/> 類似の事業はあるが競合はない <input type="radio"/> 類似の事業があり競合する	
3. 事業廃止の影響・貢献度 <input checked="" type="radio"/> 事業の廃止により重大な問題が発生する <input type="radio"/> 事業の廃止により何らかの問題が発生する <input type="radio"/> 事業の廃止による問題は想定されない	4. 市民生活・企業活動への貢献度 <input checked="" type="radio"/> 市民生活・企業活動の維持に不可欠 <input type="radio"/> 市民生活・企業活動の維持に一定程度貢献している <input type="radio"/> 市民生活・企業活動の維持への貢献度は低い	5. 事業廃止の影響を受ける受益者の割合 <input checked="" type="radio"/> 1. で選択した人の大多数(70%程度) <input type="radio"/> 1. で選択した人の半分程度(50%程度) <input type="radio"/> 1. で選択した人の少数(30%程度)
6. 事業へのニーズの変化 <input checked="" type="radio"/> ニーズが高まっている <input type="radio"/> ニーズは変わらない <input type="radio"/> ニーズが低下している又は合致しない	7. 施策の改善需要度(市民意識調査) <input checked="" type="radio"/> 順位が高い <input type="radio"/> 順位が中程度 <input type="radio"/> 順位が低い	8. 施策の優先度(市民意識調査) <input type="radio"/> 順位が高い <input type="radio"/> 順位が中程度 <input checked="" type="radio"/> 順位が低い
9. 他市町村に比較しての優位性 <input type="radio"/> 先進的またはユニークな事業である <input checked="" type="radio"/> 他と同程度の事業である <input type="radio"/> 遅れている事業である	10. 実施主体の代替性 <input type="radio"/> 民間委託等の拡充は難しい <input checked="" type="radio"/> 民間委託等の拡充が十分に可能 <input type="radio"/> 全部委託や実施主体の移行が可能	11. 経済性・効率性の向上 <input checked="" type="radio"/> 今以上の効率化や改善は難しい <input type="radio"/> 効率化や改善を図ることは十分に可能 <input type="radio"/> 効率化や改善の余地が大きい
■事業の見直し方策(評価項目2.4の補足説明含む) 災害廃棄物の円滑な処理に向け実効性のある計画となるよう、関連部署等と協議し策定する		
■今後の方向性 <input type="radio"/> I. 拡充 <input checked="" type="radio"/> II. 継続 <input type="radio"/> III. 縮小 <input type="radio"/> IV. 廃止・休止 <input type="radio"/> V. 完了		